

総務企画常任委員会活動報告

当委員会では、10月29日、30日の2日間にわたり、山形県南陽市及び福島県田村郡小野町の視察研修を行いました。

南陽市では、地域公共交通「おきタク」について視察を行いました。南陽市の沖郷地区では、路線バスが廃止され20年以上交通空白地帯となっていました。地区の住民が主体となって協議会を設立し“高齢者の日常の外出”にターゲットを絞った高齢者向けタクシー「おきタク」を導入しました。

小野町では、消防団専用アプリ「S.A.F.E.（セーフ）」とZoomを活用した防災訓練について視察を行いました。

アプリ開発以前の消防団への連絡はスマートフォンへのLINEやメール及び電話が中心であるため、災害時の多くの情報を整理することと、団員の活動状況の把握が困難であることが課題となっていました。

福島県内の消防団員が考案した「S.A.F.E.」は、消防団全員への火災通知、火災現場や水利位置情報の可視化、団員の出勤状況を共有する機能が搭載されており、消防団活動の効率化と共に迅速な初期対応が可能となります。

小野町は「S.A.F.E.」とZoomを活用した先進的な防災訓練を実施した経験があり、その実施方法等が大変参考になりました。

総務企画常任委員会 委員長 興野一美



「おきタク」について説明を受ける委員